

令和6年度上半期のエソール広島の活動状況について

1 要旨・目的

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和6年度上半期の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

2 現状・背景

「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次広島県男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めていくために、取組を着実に実施することが重要であることから、事業の実施状況や施設の利用状況等を取りまとめ、活動の検証を行うことで、今後の取組の充実・強化を図ることとしている。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（詳細は別紙のとおり）

「わたらしい生き方応援プランひろしま」に基づき、性別にかかわらず誰もがわたらしく生きることのできる社会を実現するため、次の3点を重点項目として事業を行った。

<重点項目>

- (ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- (イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- (ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

ア 重点項目等の主な取組

(ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

- ・ 性別による固定観念の解消に向け、性別役割に関する「もやもや」した思いや違和感を川柳の形で募集・発信し、県民の共感と気づきにつなげることで男女双方の意識改革を促す「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」を実施している。
- ・ 県内企業の協賛を得て、広報協力や職域での参加呼びかけを実施したほか、マスコミを通じた広報やSNS 広告の活用などにより、様々な世代から昨年度の2倍を上回る数の作品が寄せられた。【応募数：3,747 作品】



(イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

- ・ 家族や職場の人間関係トラブルなどの悩みに対し、電話相談や面接相談、専門機関等へ繋ぐなどの対応を行った。相談件数は、前年度同期に比べて、5.6%増加した。相談内容は、「家族（夫婦、子ども、親等）に関する相談」が11.7%増えたほか、年代別では、50代の相談が13.7ポイント増加している。

区 分		令和6年度上半期	令和5年度上半期	対前年度比
一般相談	電話相談	1,158 件	1,101 件	105.2%
	面接相談	59 件	52 件	113.5%
合 計		1,217 件	1,153 件	105.6%

- ・ このほか、複合的な悩みを抱える女性等に対し、複数の専門家に相談できる無料相談会を実施した。【専門家相談会参加者（LGBT 除く）：16 人】

(ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

- 性の多様性の悩み等について、週1日の電話相談で対応した。相談者の年代別では主に50代の相談件数が増加し、医療機関等の専門機関へ繋ぐ対応が増加した。

区分		令和6年度上半期	令和5年度上半期	対前年度比
LGBT相談	電話相談	108件	136件	79.4%
	面接相談	3件	—	—
合計		111件	136件	81.6%

- 専門家相談会では、支援者による面接相談のほか、専門家等を交えて相談者同士が交流できるグループ相談の場を設けた。【専門家相談会参加者（LGBT相談）：8人】
- 性の多様性等に関する理解促進について、県教育委員会等と連携し高等学校における出前授業を実施したほか、若者の身近にいる教職員を対象に、基本的な知識の理解や支援の方法などを学ぶ講座等を実施した。【出前授業：5回 1,162名】

(エ) 重点分野以外の取組等

- 男女共同参画週間の期間中にある「ひろしま防災の日」に合わせて、ジェンダーの視点に立った「防災」について学ぶ公開講座を実施するなど、ジェンダー平等について考える機会を提供した。【「防災」公開講座の参加者：174人】
- 県や民間団体と連携し、ジェンダーに関する今日的なテーマを取り上げた共催イベントや企業・団体からの研修の受託を受け、講師派遣を行った。
- 地域の男女共同参画の現状や課題、エソール広島に対するニーズ等を把握するため、市町へのアンケート調査やヒアリングを実施した。

(共催事業)

区分	回数(団体数)	参加者	内容
令和6年度上半期	14回(8団体)	713名	「わたしらしく夢を叶える起業応援セミナー」など
令和5年度上半期	16回(9団体)	758名	「FEMTECH FES (フェムテック フェス)」など

イ 利用状況

企業・団体等からの研修受託が増えたことで、外部施設での利用者数が増加するとともに、フリースペースの利用増により、前年度同期に比べて全体の利用者数が増加した。

区分	令和6年度上半期	令和5年度上半期	対前年度比
利用者数	12,256人	11,874人	103.2%
うち外部施設での参加者数(研修受託等)	1,983人	1,674人	118.5%

ウ 評価と今後の対応

- 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革では、県と連携して実施している川柳コンテストにおいて、ターゲットとしている30代～40代女性を含む幅広い世代や男性等からの応募が増えたほか、企業・学校への働きかけにより組織単位で応募があるなどの広がりをみせた。下半期は、一般投票や優秀作品の授賞式の機会を捉えた広報や、優秀作品を活用した啓発や講座等により県民の意識改革の気運醸成を図っていく。
- 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化では、窓口寄せられる相談内容や社会課題を捉えて、相談者のニーズに応じた専門家相談会の開催に取り組んだ。引き続き、相談内容の傾向等を踏まえ、電話・面接相談や専門家相談会を実施する。
- 若年のうちからLGBT等に対する正しい理解を促進するため、県教育委員会への働きかけを強化し、未実施の高等学校における出前授業の実施に取り組んでいく。
- 下半期は、女性特有の健康課題といった今日的なテーマを取り上げ、他団体との共催で事業を実施するほか、市町との連携強化を目的とした意見交換を通じて、広報連携や研修受託につなげる。
- ホームページの改修により、訴求効果の高い情報発信を行い、認知度の向上及び利用者数の増加を図る。

(3) スケジュール(実施期間)

令和6年4月～令和6年9月

令和6年度上半期のエソール広島の活動状況について

〔 令和6年11月19日
わたらしい生き方応援課 〕

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和6年度上半期の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

第1 エソール広島の事業の実施状況について

「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めて行くため、次の3点を重点項目として事業を行っている。

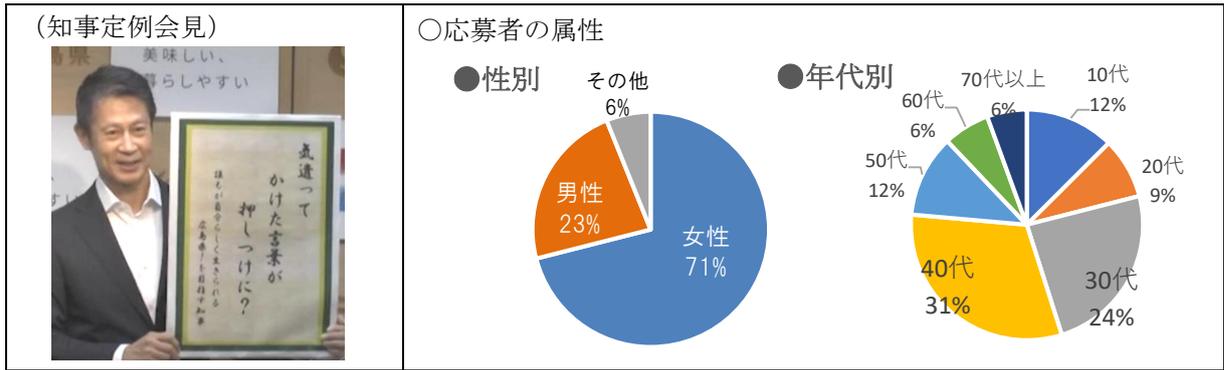
<p><重点項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革 2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化 3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

(1) 事業内容

○ 性別による固定観念の解消に向け、県民が日頃抱いている性別役割に関する「もやもや」や違和感を川柳の形で広く募集、優秀作品を発信し、県民の共感と気づきにつなげ、社会全体の意識改革を促すキャンペーンとして、ジェンダー川柳コンテストを実施している。

事業名	内容
 <p>ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト2024</p> <p>作品募集 応募期間 9月10日～10月14日</p> <p>「男だから」「女だから」... 誰かの価値観を押し付けて「もやもや」した経験はありますか？ 気遣いのつもりがうまく伝わらず「もやもや」した経験はありますか？ みなさんの心に残る「もやもや」を川柳の形で発信してください。あなたが伝える「もやもや」が、誰もが自分らしく生きるためのヒントになるかもしれません。</p> <p>【第1回】「男だから」「女だから」など性別による思い込みや決めつけで「もやもや」したこと</p> <p>賞金：5万円分、2万円分、1万円分、5千円分、2千円分、1千円分</p> <p>賞品：デジタルカメラ、デジタルカメラ、デジタルカメラ、デジタルカメラ</p> <p>応募方法：エソール広島のウェブサイトから応募</p> <p>お問い合わせ：082-242-5282</p>	<p>性別による固定的な役割分担の意識について、70%の方が「他者から影響を受けている」と回答していることから、個人を取り巻く職場や家族といった周囲の方の意識を変えることが重要である。このため、今年度は、コンテストの趣旨に賛同いただいた県内企業11社の協賛を得て、9月10日から10月14日にかけて、「男だから」「女だから」など性別による思い込みや決めつけで「もやもや」したことを川柳の形で公募した。</p> <p>審査員や企業賞を提供していただいた特別協賛企業による審査のほか、県民による共感作品への投票を経て、12月3日（火）に結果発表を予定している。</p> <p>○応募総数 3,747 作品</p> <p>○多く寄せられた作品の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「男らしさ」や「女らしさ」を規定する言葉や慣習に関するもやもや (41%) ・家事育児に関する性別による固定観念への違和感 (27%) ・職場における周囲の言動等から感じた性別による固定観念への違和感 (11%) 等



(2) 評価と今後の対応

- ジェンダー川柳コンテストでは、SNS 広告のほか、協賛企業による広報協力や職域での参加呼びかけを行ったことにより、ターゲットとしている 30 代～40 代女性を含む幅広い世代や男性等からの応募が増えたほか、企業・学校への働きかけにより組織単位で応募があるなどの広がりが見られ、昨年度の 2 倍を上回る数の作品が寄せられた。【応募数:3,747 作品、目標数:3,000 作品、昨年度:1,649 作品】
- 下半期は、一般投票や優秀作品の授賞式などの機会を捉えた広報や、優秀作品を活用した啓発やアンコンシャス・バイアスに関する公開講座等により、県民の意識改革の気運醸成を図っていく。

2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

(1) 事業内容

- 様々な悩みに対する電話相談を実施し、複雑・深刻な悩みなどについては面接相談に移行するとともに必要に応じて専門機関に繋ぐ対応を行った。電話相談と面接相談を合わせると 1,217 件の相談があり、前年度同期に比べて 5.6%増加した。相談内容は、「家族（夫婦、子ども、親等）に関する相談」が 11.7%増えたほか、年代別では、50 代の相談が 13.7 ポイント増加している。
- 複合的な悩みを抱える女性等に対しては、複数の専門家に相談できる無料相談会を実施した。
- このほか、若年層におけるデート DV や SNS 利用による性暴力に対し、周囲の大人ができることについて改めて考える公開講座を開催した。
- また、支援者には多岐にわたる相談対応のスキルが求められることから、困難を抱える方への支援の充実・強化を図るため、支援者養成に取り組んだ。

ア 相談業務（一般相談）※LGBT相談は、「3」の性の多様性についての項目で後述

(7) 相談件数

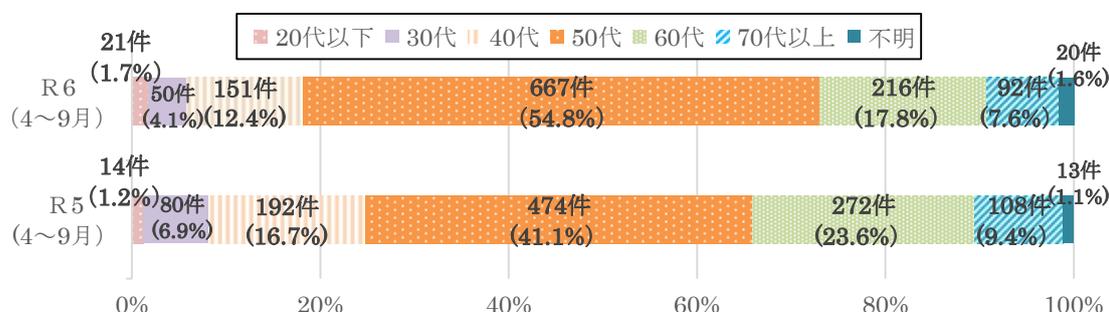
区分	電話相談※	面接相談※	計	前年同期比
令和 6 年度(4～9月)	1,158 件	59 件	1,217 件	105.6%
令和 5 年度	(4～9月)	52 件	1,153 件	—
	年間	100 件	2,318 件	—

※電話相談は週 5 日（水曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く）、面接相談は原則、毎週金曜日実施

(イ) 相談内容

相談内容	令和6年度 (4～9月)	令和5年度 (4～9月)	前年 同期比
家族（夫婦、子ども、親等）に関すること (離婚、夫婦間のDV、子どもの教育、親の世話など)	411件 (33.8%)	368件 (31.9%)	111.7%
男女間や職場の人間関係など対人に関すること (男女・隣人・友人・職場等対人関係におけるトラブルなど)	258件 (21.2%)	256件 (22.2%)	100.8%
健康、孤独などの人生における不安や悩みに関すること (病気を抱える辛さや不安、今後の生き方など)	486件 (39.9%)	465件 (40.3%)	104.5%
その他 (法律や福祉など様々な情報の収集など)	62件 (5.1%)	64件 (5.6%)	96.9%
計	1,217件 (100.0%)	1,153件 (100.0%)	105.6%

(ウ) 相談者の年代



(I) 専門機関との連携

専門機関	令和6年度 (4～9月)	令和5年度 (4～9月)	主な事例
警察	2件	0件	争い事等
医療機関等	1件	0件	家族との関係に関する悩み
行政機関（こども家庭センター等）	18件	5件	DV等
弁護士、家庭裁判所等	12件	2件	離婚等
民間施設	5件	0件	金銭問題等
計	38件	7件	

イ 専門家相談会 ※LGBT相談は、「3」の性の多様性についての項目で後述

相談会	実施日	相談者	内容
<p>専門家無料相談会</p>	9/23	16人	<p>弁護士、臨床心理士、公認心理師による無料相談を行い、DVや離婚等の家族問題に加えて、近年相談が増加している不登校等の子どもの相談等に対応した。</p> <p>満足度：68.8%</p> <p>相談者の声：「的確なアドバイスをいただき、有意義だった。気持ちが少し前向きになった。」など</p>

ウ 主催事業

講座名	実施日	参加者	内容
エソール広島公開講座 「今、若者たちに何が起きているのか～デートDVに気づき、助けてと言え る環境を作るには～」	6/27	107名	若者が被害を受けることの多いデートDVに対し、周囲の大人ができることを考え、改めて社会におけるジェンダーの問題について考える講座を実施した。 満足度：95.8% 受講者の声：「具体的な事例をもとに望ましい対応を学ぶことができた。」「どんな声掛けが良いかのプチ・ロールプレイが具体的で良かった。」など
エソール広島公開講座 「SNS利用による性暴力から子どもたちを守るために」	9/26	138名	SNSの利用は子ども達の間でも急速に拡大し、大人の目に触れにくいところで性被害に遭うケースがみられていることから、周囲の大人がどのように子どもたちのSOSに気づき、性被害を防止するのかを考える講座を実施した。 満足度：97.2% 受講者の声：「子どもたちがNoと言えるように、そして何かあったら安心して相談できるように、小さいときからの教育と体制づくりの大切さを改めて感じた。」など

エ 支援者養成

講座名	実施日	参加者	内容
支援者養成講座 	6/16 7/13 7/14	21名	対人援助や相談支援で基本となる「聴く技術」を体験的に学び、相談技術を身に付けた人材を育成することを目的に支援者養成講座を開催した。 対象：支援者をめざす人（未経験者を含む。） 満足度：100% 受講者の声：「相談員としてのスキルアップにとっても役立つ講座だった。」「目からウロコの知識をたくさん教えていただいた。参加者同士の交流もよかった。」など

(2) 評価と今後の対応

- 相談事業では、50代女性からの相談が増加しており、その内容は、物価高騰などによる不安定な社会情勢や非正規雇用等による将来への不安・生きづらさが多かった。
- 窓口寄せられる相談内容や社会課題を捉えて、相談者のニーズに応じた専門家相談会の開催に取り組んだ。
- 支援者養成講座では、参加者同士の交流の機会を設けるなどの工夫により、参加者の満足度は100%と高評価を得られた。
- 下半期も引き続き、相談内容の傾向等を踏まえ、電話・面接相談や専門家相談会を実施するとともに、支援者のスキルアップとネットワークづくりを目的とした講座を実施する。

3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

(1) 事業内容

- 性の多様性の悩み等について、週1日の電話相談を開設し、「自分の性に違和感がある」などの相談への対応を行った。相談件数は前年度同期と比べて減少したが、年代別では主に50代の相談件数が増加し、医療機関等の専門機関に繋ぐ対応が増加した。
- 専門家相談会では、支援者による面接相談のほか、専門家等を交えて相談者同士が交流できるグループ相談の場を設けた。
- 性の多様性等に関する理解促進について、県教育委員会等と連携し高等学校における出前授業を実施したほか、若者の身近にいる教職員を対象に、基本的な知識の理解や支援の方法などを学ぶ講座等を実施した。

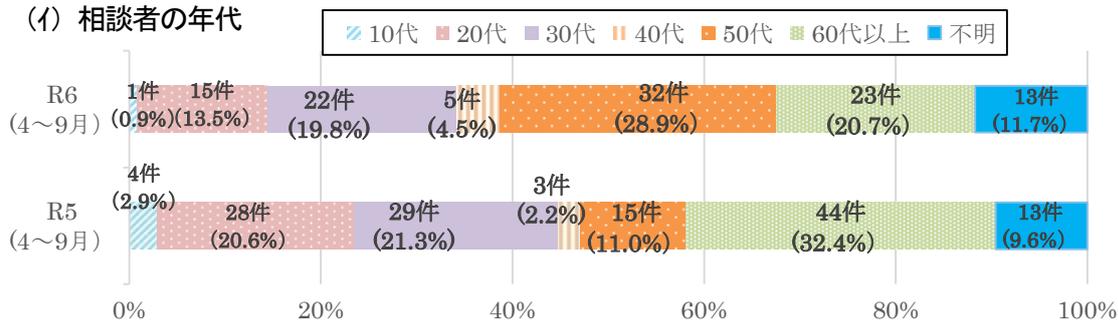
ア LGBT相談*

(7) 相談件数

区分	電話相談	面接相談	計	対前年同期比
令和6年度(4~9月)	108件	3件	111件	81.6%
令和5年度	(4~9月)	-	136件	-
	年間	5件	268件	-

*LGBT電話相談は平成29年10月開設（開設当初は月1回）、平成30年6月からは毎週土曜日実施

(イ) 相談者の年代



(ウ) 専門機関との連携

専門機関	令和6年度(4~9月)	令和5年度(4~9月)	主な事例
医療機関	4件	0件	性別違和の診断等
民間支援団体	3件	0件	交流会等について情報を得たい
計	7件	0件	

イ 専門家無料相談会

相談会	実施日	相談者	内容
専門家無料相談会 ※LGBT相談	9/23	8名	支援者による個別の面接相談のほか、大学教授等を交えて相談者同士が交流できるグループ相談を実施した。 満足度：100% 参加者の声：「(個別に相談できたほか) グループ相談でもたくさん話をしたり聞いたりできてよかった。」など

ウ LGBT の理解促進

講座名	実施日	参加者	内容
高校生向け性の多様性等に関する出前授業	4/1 ～9/30 (5回)	1,162名	若い段階で、性の多様性について正しく学ぶとともに、多様な人々がそれぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送り、お互いを理解し尊重することの大切さなどについて学んでもらうために、出前授業を行った。(R5 上半期：6回、1,270名)
エソール広島公開講座 「知ってほしい性の多様性」	8/8	487名	子ども達と多くの時間を共有する学校関係者等が、性的指向や性自認に関する正しい知識と理解を深め、全ての子ども達が安心して学び暮らせる環境の整備に寄与するため、基本的な知識や支援の方法などが学べる公開講座及び動画配信を実施した。 満足度：92.9% 受講者の声：「自分の意識をまず変えていきたいと思った。」「身近にいる人に対して、否定せずにその人自身を見ることが出来るように意識していく。」など

(2) 評価と今後の対応

- LGBT 相談において、50代の相談件数が増加した背景に、近年のLGBTに関する認知や関心の高まりにより、これまで相談できなかった方からの相談が増えていることや、継続して相談される方が増加傾向であることが挙げられる。
- 専門家相談会では、昨年度好評だったグループ相談を実施したところ、満足度は100%と引き続き高評価を得た。
- 公開講座では、教職員等をターゲットに県教育委員会等と連携して広報したところ、学校単位での参加が得られたほか、「多くの気付きが得られた。」といった意見が寄せられるなど高い満足度を得た。また、エソール広島の講座を初めて受講された方が82.1%と多く、エソール広島の活動を知ってもらう機会とすることができた。
- 性の多様性の理解が必ずしも十分ではないという社会課題を踏まえ、企業等からの講座開催等のニーズを研修受託につなげられるよう、積極的な広報活動を行うとともに、若年のうちからLGBT等に対する正しい理解を促進するため、県教育委員会への働きかけを強化し、未実施の高等学校における出前授業の実施に取り組んでいく。

4 重点分野以外の取組等

(1) 事業内容

- 男女共同参画週間の期間中にある「ひろしま防災の日」に合わせて、ジェンダーの視点に立った「防災」について学ぶ公開講座を実施するなど、避難所等におけるジェンダー平等について考える機会を提供した。
- 県や民間団体と連携し、ジェンダーに関する今日的なテーマを取り上げた共催イベントや企業・団体からの研修の受託を受け、講師派遣を行った。
- また、図書等の配架・貸出やSNS等を利用した講座・研修の情報発信等を行った。
- このほか、地域の男女共同参画の現状や課題、エソール広島に対するニーズ等を把握するため、市町へのアンケート調査やヒアリングを実施した。

ア 主催事業

講座名	実施日	参加者	内容
エソール広島公開講座 「誰一人取り残さない防 災の学び～ジェンダーの 視点から～」	6/29	140名	地域の災害対応において、男女共同参画の視 点が反映されるよう、「ひろしま防災の日（6月 29日）」に合わせ、災害時に、女性等が被る困難 等について現状を知り、ジェンダーの視点から 自分事として考えてもらう講座を実施するとと もに、進徳女子高等学校の能登半島地震支援に おける活動報告を組み合わせ、実施した。 満足度：95.0% 受講者の声：「男女格差のない、誰もが声を出せ る避難所生活を送れることが大事なことだと考 えさせられた。平時から、地域支援活動で取り組 もうと思った。」など
同上※3回連続講座	9/7 9/28 10/27	34名	地域防災・復興の場における生活者の視点を 生かし、地域で活躍できる防災リーダーの育成 を目指す人材育成連続講座を実施し、下半期と なる第3回には、段ボールベッドや乳幼児世帯 用スペース等の設置、防災食の実食など実践的 な訓練を実施した。

イ 共催事業

県や民間団体と連携し、ジェンダーに関する今日的なテーマを取り上げて、講座やイベント等を行った。

区分	回数（団体数）	参加者	内容
令和6年度 （4月～9月）	14回（8団体）	713名	働き方講演会「未来を切り開く女性たちへ」 「わたしらしく夢を叶える起業応援セミナー」など
令和5年度 （4月～9月）	16回（9団体）	758名	「FEMTECH FES（フェムテック フェス）」 「みんなのDX研修～女性×デジタル～」など

（主な共催事業）

テーマ	実施日	参加者	内容
「わたしらしく夢を叶え る起業応援セミナー」 	8/5	71名	仕事と家庭を両立するためのアドバイスの提 供や、社会全体の理解を深めることを目的に、女 性の働き方に焦点を当てた講演会を開催した。 満足度：100% 受講者の声：「起業とか経営者という自分とは まったく無縁な世界だと思っていたが、皆さんの キッカケを聞いてハードルは意外と低く感じら れた。」「今は特にやりたい事は無いが、何かやり たい事が出来た時に起業という選択肢もあるの だなと思った。」など

ウ 研修受託

企業・団体・行政からの受託を受け、ジェンダー平等に関する講演・講座に講師を派遣し、意識啓発を行った。

区分	回数（団体数）	参加者	内 容
令和6年度 （4月～9月）	12回（9団体）	638名	ハラスメント、ダイバーシティ経営等
令和5年度 （4月～9月）	8回（7団体）	386名	男女共同参画、LGBT、DVの基礎知識等

エ 大学等との連携

若年層の自主的な活動の場づくりとして、大学等との交流・連携を図った。

連携先	日 時	概 要
叡啓大学	7/25 8/24 9/24	SNSの利用拡大などにより、リアルな人間関係が希薄になる中で、25歳以下の学生等が自主的に企画・運営する性的マイノリティ当事者等の居場所づくりを目的とした活動を支援した。 参加者数：40人 対象：LGBTQ+当事者、当事者かもしれない人、自分のセクシュアリティに迷っている人
	9/18～9/30 （10日間）	男女共同参画に関する理解を深めてもらうため、大学生をインターンシップとして受け入れ、イベントの企画、ホームページの改善及び図書スペースの利用活性化等について提案してもらった。
計	1校2件	

オ エソールつながるトークリレー（YouTube 動画配信）

テーマ	公開期間	講 師	視聴回数
困難女性支援法に期待するもの（#1～#3）	4/1～	寺本佳代さん（弁護士）	668回
デートDVとは何ですか？（#1・#2）	4/1～	藤本圭子さん（弁護士）	344回
多様な性のあり方を前提とした学校づくり～支援活動の現場から見えてきたもの～	6/1～	河口和也さん（広島修道大学教授） 當山敦己さん（一般社団法人ここいろhiroshima 共同代表理事）	933回
性の多様性と教育（前編・後編）	6/1～	河口和也さん（広島修道大学教授）	611回

カ 情報発信等の状況

ホームページ上でセミナーの案内や実施内容、施設利用について発信をしたほか、Facebook や Instagram などの SNS を利用し、施設の利用案内や各種講座・研修の情報を発信した。

また、女性問題、DV、人権、LGBT など男女共同参画やダイバーシティ等に関する図書等を配架、貸出しを行った。※詳細は、[参考](#)情報発信・蔵書貸出状況のとおり（P14）

(2) 評価と今後の対応

- 新たに「防災」をテーマに実施した講座では、市町等の広報協力により、これまでエソール広島と関わる事が少なかった防災士に参加を促すことができ、避難所においてもジェンダーの視点が大切であることを学んでもらうことができた。
- 民間団体との共催で実施した、女性の働き方について考える「わたしらしく夢を叶える起業応援セミナー」では、アンケートの満足度が100%と高く、起業や経営を身近に感じてもらうことができた。
- 下半期は、女性特有の健康課題について考える「FEMTECH FES (フェムテック フェス)」など今日的なテーマを取り上げ、他団体等との共催で事業を実施するとともに、企業等からの研修受託に引き続き取り組んでいく。
- ホームページへのアクセス数は、「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」の実施等により前年度同期と比べて約1.2倍増加した。今後、コンテンツを充実させ、情報発信力を強化することを目的にホームページの改修を行うほか、県立広島大学と連携したYouTube 動画の配信や公開講座を実施するなどの情報発信により、認知度向上と活動の活性化を図っていく。
- また、上半期に実施した市町へのヒアリング等の結果を用いて、市町との連携強化を目的とした意見交換を通じて、広報連携や研修受託につなげる。

第2 エソール広島の利用状況について

1 エソール広島の利用状況

(1) 利用者状況

ア 利用者数

企業・団体等から研修受託が増えたことで、外部施設での利用者数が増加するとともに、フリースペースの利用増により、前年度同期に比べて全体の利用者数が増加した。

区分	令和6年度 (4~9月)	令和5年度		対前年 同期比 A/B	
	実績 A (割合)	(4~9月) 実績 B	年 間		
利用者数	12,256 人 (100.0%)	11,874 人 (100.0%)	25,566 人 (100.0%)	103.2%	
うちオンライン参加	1,743 人	1,241 人	1,802 人	140.5%	
内 訳	施設利用者数	10,273 人 (83.8%)	10,200 人 (85.9%)	19,611 人 (76.7%)	100.7%
	うちオンライン参加	1,743 人	1,241 人	1,802 人	140.5%
	研修室・交流スペース利用	8,756 人	8,976 人	17,136 人	97.5%
	フリースペース利用	1,517 人	1,224 人	2,475 人	123.9%
外部施設で参加者数 (研修受託等)	1,983 人 (16.2%)	1,674 人 (14.1%)	5,955 人 (23.3%)	118.5%	

イ 研修室及び交流スペースの稼働率

研修目的等での稼働率は84.4%と、前年度同期と比べて2.3ポイント上昇している。

区分	開館日数 A	研修目的等での利用日数 B	稼働率 B/A
令和6年度(4~9月)	180日 ^{※1}	152日	84.4%
令和5年度(4~9月)	179日 ^{※2}	147日	82.1%

^{※1} 令和6年度は、8/12~8/14の3日間休館している。

^{※2} 令和5年度は、G7サミットにより5/18~5/21の4日間休館している。

ウ 施設利用者の利用状況

団体区分別でみると、企業等が4,920人(47.9%)で最も多く、また利用形態別では、講座・研修が49.0%と多い。

区 分	令和6年度 (4~9月) 〔団体別割合〕 (利用形態割合)	(利用形態)				令和5年度 (4~9月)	対前年 同期比
		講座・研修	交流会	会議・打合せ	その他		
共催連携団体	784人 〔7.6%〕 (100.0%)	623人 (79.5%)	71人 (9.0%)	0人 (0.0%)	90人 (11.5%)	1,149人	68.2%
企業等	4,920人 〔47.9%〕 (100.0%)	2,518人 (51.2%)	431人 (8.8%)	1,563人 (31.7%)	408人 (8.3%)	4,996人	98.5%
行政	1,858人 〔18.1%〕 (100.0%)	1,195人 (64.3%)	0人 (0.0%)	633人 (34.1%)	30人 (1.6%)	2,248人	82.7%
男女共同参画 財団(主催事業)	1,194人 〔11.6%〕 (100.0%)	696人 (58.3%)	0人 (0.0%)	7人 (0.6%)	491人 (41.1%)	583人	204.8%
フリースペース 利用者	1,517人 〔14.8%〕 (100.0%)	—	—	—	1,517人 (100.0%)	1,224人	123.9%
合 計	10,273人 〔100.0%〕 (100.0%)	5,032人 (49.0%)	502人 (4.9%)	2,203人 (21.4%)	2,536人 (24.7%)	10,200人	100.7%

(2) 評価と今後の対応

- 主催事業では、社会課題を捉えたテーマや具体的なターゲットを設定した講座を実施し、職域や市町等を通じた効果的な広報を実施したことにより、これまでエソール広島を認知していない層へのアプローチが実現し、認知度の向上を図ることができた。
- 下半期も、エソール広島において、社会環境などを踏まえた講座等のテーマや実施方法を工夫するとともに、今日的なテーマを取り上げた共催事業を積極的に行うほか、ホームページの改修や市町等との広報連携により、訴求効果の高い情報発信を行い、認知度の向上及び利用者数の増加を図る。

情報発信・蔵書貸出状況

(1) ホームページ等

ホームページ	<p>アクセス件数：65,121件（前年4～9月：56,149件） アクセスの多いページ（HOMEを除く）</p> <p>① 施設利用（3,409件） ② 施設案内（3,395件） ③ 相談したい方（3,243件） ④ ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト（2,938件） ⑤ エソール広島の概要（2,369件） ⑥ 施設予約状況（1,623件） ⑦ 講座情報（1,486件） ⑧ 講座イベント情報（1,208件） ⑨ 令和6年度LGBT公開講座「知ってほしい性の多様性」（1,125件） ⑩ 対人支援の技術 講座イベント情報（967件）</p>	
Facebook	<p>投稿回数：29回（前年4～9月：40回） フォロワー数：767人</p> <p>主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（16件） ②イベント情報（共催事業）（6件） ③国・県情報（4件） ④図書の紹介（2件） ⑤施設情報（1件）</p>	
Instagram	<p>投稿回数：21回（前年4～9月：17回） フォロワー数：237人</p> <p>主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（9件） ②イベント情報（共催事業）（5件） ③国・県情報（4件） ④図書紹介（2件） ⑤施設情報（1件）</p>	
LINE	<p>投稿回数：7回（前年4～9月：13回） フォロワー数：73人</p> <p>主な配信内容： ①研修・イベント情報（財団主催）（5件） ②イベント情報（共催事業）（0件） ③国・県情報（1件） ④図書の紹介（0件） ⑤施設情報（1件）</p>	 <p>ESSOR 最新の情報、載ってます！ Follow us!! Instagram facebook 他にもいろいろ、やってます！ YouTube</p>
メールマガジン	<p>配信回数：17回（情報数69件） （前年4～9月：17回（情報数56件）） 登録者数：1,509人</p> <p>主な配信内容： ①研修・イベント情報（財団主催）（48件） ②イベント情報（共催事業）（9件） ③国・県情報（6件） ④図書の紹介（0件） ⑤施設情報（6件）</p>	
YouTube	<p>公開本数：5本（総登録数35本） 登録者数：163人 視聴回数：4,021回（前年4～9月：1,266回） 総再生時間：455.5時間（前年4～9月：58.0時間）</p>	

(2) 文献情報等

区 分		保有数	貸出数	
			令和5年度	
一般図書	女性問題に関する図書、女性の活動を支援する図書	3,167冊	119冊	145冊
行政資料	国・都道府県作成の男女共同参画に関する調査・統計・報告書等	213冊	(館内閲覧)	(館内閲覧)
DVD	女性の生き方を考える国内外の映画・ドキュメンタリー等	50本	0本	0本